

**【栃木県小山市】  
令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業  
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）**

自治体名	栃木県小山市
担当課名	教育委員会学校教育課
電話番号	0285-22-9676

# 1. 自治体の基本情報

## 基本情報

人口	166,000人	部活動数	109部活
公立中学校数	11校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
公立中学校生徒数	4,367人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

運動部活動の地域移行に向けて、本市では、栃木県の行動目標に準じ、「令和7年度末までに、市内全中学校・義務教育学校後期課程の休日の部活動において、各校1つ以上の部活動を地域クラブ活動へ移行する。」という行動目標を設定した。行動目標の実現に向け、現状の取組として一つは「市地域クラブ活動推進協議会」を開催した。市の「部活動の地域クラブ活動移行の基本方針」策定に当たり、意見・助言を仰ぐ機関として設置し、令和5年度は12月と3月（予定）に実施。また、地域クラブ活動移行に関する、活用可能な社会資源等（人材・活動場所など）についても、協力を仰ぐ予定である。部活動の休日の部活動の地域クラブ活動移行については、小山第三中学校柔道部、絹義務教育学校剣道部において休日の部活動の地域クラブ活動を行っている。2校とも、部活動指導員が休日のクラブ活動指導員として指導を行っている。

課題として、一つ目は地域クラブ活動を行うための受け皿の確保・指導者の確保があげられる。総合地域型スポーツクラブの方に協議会の委員として入っていただいているが、各校1つの部活動を地域へ移行するとしても、市内11校の部活動を受け入れるのは厳しい状況である。そのため、個人のクラブ活動指導員を確保する必要が出てくるが、人材バンクの設置を含め、適正人材の数を確保することは課題である。二つ目は、保護者の理解があげられる。小山市独自に行ったアンケートによると、休日の部活動が地域移行になった場合不安に感じていることは、送迎に関する物理的・時間的負担を最も不安に感じている。以下、金銭面（受益者負担）、指導者の人間性や教育力となっている。保護者の不安を軽減し、生徒のための地域クラブ活動移行を進めることが課題である。

休日の部活動が地域スポーツ・文化活動に移行した場合(回答数:1,356人)

質問	全く心配ない	どちらかと言え ば心配ない	どちらかと言え ば心配だ	非常に心配だ
①活動に当たっての金銭的な負担に関して	6.0%	34.7%	46.4%	12.9%
②活動場所への送迎の物理的・時間的負担に関して	3.9%	19.7%	51.6%	24.8%
③学校の友人を越えて新たな交友関係を築くことに関して	34.3%	50.9%	12.7%	2.1%
④地域の指導者の指導能力や指導方法に関して	12.2%	45.9%	34.4%	7.4%
⑤地域の指導者の人間性や教育力に関して	10.6%	37.5%	41.3%	10.6%

「小山市地域クラブ活動移行に係るアンケート保護者対象より(令和5年7月実施)」

## 2. 実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ▼行政組織内での役割分担

##### ●教育委員会（学校教育課）

- ・休日の部活動の地域クラブ活動移行の計画立案・実施
- ・地域クラブ活動推進協議会事務局（開催・運営）
- ・地域クラブ活動運営団体・指導員の確保
- ・クラブ活動指導員の管理・研修
- ・学校との連携（施設・生徒指導・保護者対応）
- ・教職員の兼職兼業について

（教育委員会：生涯スポーツ課・生涯学習課）

- ・クラブ活動指導員バンクの設営

##### ●首長部局

- ・現時点では、地域クラブ活動移行に関する全ての業務を教育委員会が担当しているので、他の課はありません。

### 年間の事業スケジュール

令和5年度

4月～7月：実証事業モデル校検討／地域クラブ活動推進協議会の在り方検討・協議委員への依頼／生徒・保護者・教職員対象アンケート実施（7月）

8月～9月：実証事業モデル校との打合せ・保護者説明／地域クラブ活動推進協議会内容検討／関係課との事前打合せ

10月～1月：モデル校での実証事業の実践・検証／第1回地域クラブ活動推進協議会開催（12月）

2月～3月：実証事業検証・報告／次年度のモデル校検討・決定／第2回地域クラブ活動推進協議会（3月）

## 2. 実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

拠点校数	2校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	柔道・剣道
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	2部活		

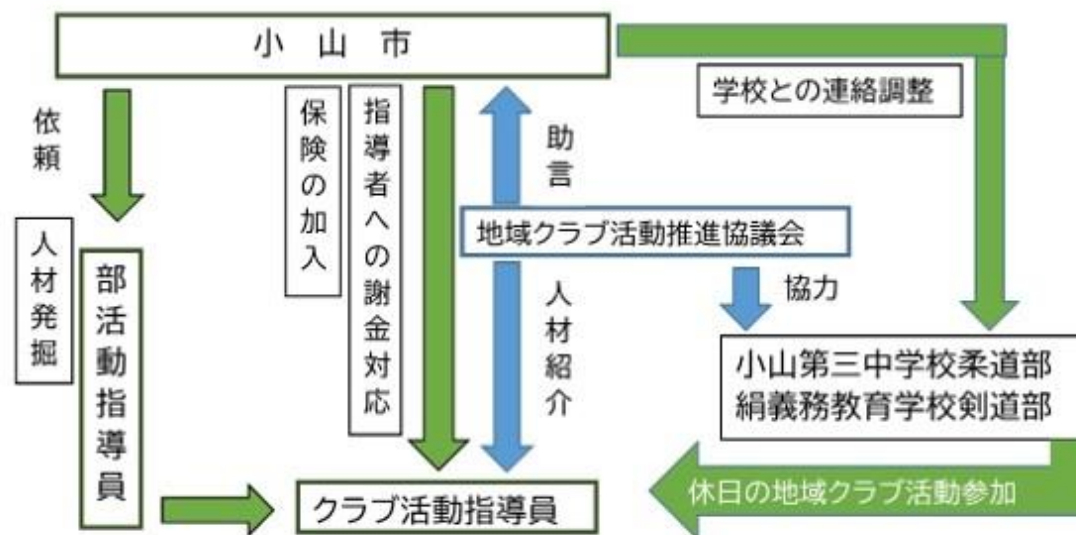
### 主な取組例

#### ▼活動概要

拠点校名	小山第三中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	1部活
地域クラブ活動で実施した種目	柔道
運営主体名	地域クラブ活動指導員
運営類型	市区町村運営型（地域団体・人材活用型）
1か月あたりの平均的な活動回数	柔道：月2回程度
指導者の主な属性	地域部活動指導員
活動場所	小山第三中学校柔道場
主な移動手段	自転車
1人あたりの参加会費等（年額）	今年度は参加費負担を行わない。 ※市で補助
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

#### ▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）

（運営体制図）



## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保証・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ▼取組項目名：ア. 関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

#### 取組事項

- ・小山市地域クラブ活動推進協議会の設置
- ・第1回小山市地域クラブ活動推進協議会開催（令和5年12月18日）
- ・第2回小山市地域クラブ活動推進協議会開催（令和6年3月18日）

#### 取組の成果

○市としての、地域クラブ活動移行の方針、活動目標の決定

【方針】「休日における部活動の地域クラブ活動移行を通して、生徒の活動の機会を確保する。（生徒にとって望ましい部活動を第一に考える）」

【行動目標】「令和7年度末までに、市内全中学校・義務教育学校の休日の部活動において、各学校1つ以上の部活動を地域クラブ活動へ移行する。」

#### 特に工夫した事項

委員の構成として、部活動、地域クラブ活動に関係する人材を多方面から募り、市地域クラブ活動推進協議会を発足した。

小山市地域クラブ活動推進協議会委員

No	選出区分	役職等
1	公益財団法人小山市スポーツ協会	会長
2	ミズノ株式会社(市立体育館)	職員
3	NPO 法人総合型地域スポーツクラブおにっこクラブ	副会長
4	小山市文化協会	副会長
5	文化活動専門家	ヴァイオリン奏者
6	学識経験者	白鷗大学教授
7	小山市 PTA 連合	副会長
8	小山市校長会	小山城南中学校長
9	小山市校長会	小山第三中学校長
10	教育総務課	課長
11	生涯スポーツ課	課長
12	生涯学習課	課長
13	文化振興課	課長

#### 今後の課題と対応方針

- ・地域クラブ活動推進協議会での助言や意見を反映した取組の推進。
- ・指導員の紹介や社会施設の利用の協力を具体的に進めること。

## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保証・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

##### 取組事項

- ・部活動指導員の活用
- ・地域クラブ活動推進協議会からの人材派遣協力

##### 取組の成果

- ・普段の部活動から指導を行っている部活動指導員が地域クラブ活動指導員として活動を行っているため、生徒も保護者も不安感が少なかった。
- ・部活動顧問を含む、学校との連携もスムーズであった。
- ・地域クラブ活動推進協議会からの人材派遣協力は次年度のモデル校での実証事業で活用する予定である。

##### 特に工夫した事項

・アンケート結果では、生徒が望む指導者で最も多かったのは、「自校の部活動の先生」であり、次に多かったのが、「専門的な技能や知識を有する地域のスポーツ指導者」であった。部活動指導員は、常時指導を受けており、専門的知識を有しているため、生徒の望む指導者を選択した。

地域のスポーツ・文化活動に参加する場合、様々な立場の人から指導を受けられる可能性があります。以下の指導者からの指導をどの程度希望しますか。

- 1 平日の部活動で指導を受けている自分の学校の先生希望する・・・81.2%
  - 2 その活動の専門的な技能や知識を有する地域のスポーツ指導者希望する・・・77.4%
- 「地域クラブ活動移行に係るアンケート（回答数3,455人）  
（令和5年7月実施：生徒対象アンケートより）」

##### 今後の課題と対応方針

・今年度は、部活動指導員だけの地域クラブ活動になってしまったが、次年度は市のスポーツ協会からの派遣や部活動指導員ではない地域の指導者をクラブ活動指導者として地域クラブ活動を進めていきたい。

## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保証・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ▼取組項目名：ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

・地域クラブ活動推進協議会の委員に、学校部活動関係者（校長）・地域スポーツ関係者（市スポーツ協会・地域スポーツ団体）・部活動に関する有識者（白鷗大学教授）・市の施設管理者・PTA代表・関係各課長を協議会委員とした。

##### 取組の 成果

- ・白鷗大学の教授から、部活動に関して専門的立場から助言を得ることができた。
- ・校長会で説明を行うことで「休日における地域クラブ活動移行」について、各中学校、義務教育学校職員への周知が図られた。
- ・地域スポーツ関係者へ、人材派遣の協力・施設利用の協力を要請した。

##### 特に 工夫した 事項

・協議委員の人選について、生徒の身近にいる、学校関係者（校長）、保護者代表（PTA代表）、地域スポーツとしての観点から、また、人材の確保の面から、地域スポーツ団体・市スポーツ協会、活動における施設面から市で委託している事業者の代表、専門的な意見を得るために大学教授、令和8年度以降の地域クラブ活動移行を見据えて、市の文化・芸樹に関係する方、他課と協働して進めていく上で、学校教育課以外の教育委員会所属の課長などを協議委員として、いろいろな立場から、幅広く意見を取り入れて地域クラブ活動移行を進めていけるよう、協議委員の人選を行った。

##### 今後の 課題と 対応方針

- ・学校部活動から、地域へ移行をしていく上で、学校対応と地域対応の役割の明確化が必要である。
- ・先を見通して、関係する課と情報を共有し、部活動の地域移行に対応していく。

## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保証・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ▼取組項目名：エ：面的・広域的な取り組み

##### 取組事項

- ・市内の中学校、義務教育学校で一つしかない柔道部を地域クラブ活動移行の実証モデルとした。
- ・小中一貫の義務教育学校を地域クラブ活動移行の実証モデルとした。

##### 取組の 成果

- ・今年度は、学校区を越えた参加は行わなかったが、同校の柔道部ではない生徒が休日のクラブ活動に参加した。
- ・次年度に向けて、学校区を越えたクラブ活動の参加の方法の検証が行えた。
- ・義務教育学校の特性を生かし、休日のクラブ活動で小学6年生の参加が見られた。

##### 特に 工夫した 事項

- ・市内の中学校、義務教育学校で一つしかない柔道部を地域クラブ活動移行の実証モデルとした点。
- ・小中一貫の義務教育学校を地域クラブ活動移行の実証モデルとした点。

##### 今後の 課題と 対応方針

- ・学校区を越えた参加をするにあたり、平日に活動している部活動との兼ね合い。
- ・学校関係者との検討が必要である。



## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保証・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ▼取組項目名：キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

- ・地域クラブ活動の活動場所は、学校の施設を活用した。
- ・地域クラブ活動においても、市の部活動ガイドラインを遵守した。

##### 取組の 成果

- ・学校施設を利用しているので、送迎の負担がない。
- ・他の部活動も活動しているので、学校職員の緊急時の対応が可能。

##### 特に 工夫した 事項

- ・特になし

##### 今後の 課題と 対応方針

- ・施設の管理、施設が課題である。
- ・校庭、体育館、柔道場、剣道場のように活動場所が独立していれば、鍵の管理をクラブ活動指導員に任せられるが、校舎に入らないと活動場所に行けない場合は、現状、学校の協力が不可欠である。

## 2. 実証内容と成果

### 参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

小山市地域クラブ活動移行に係るアンケート結果抜粋  
令和5年7月5日（水）～7月20日（木）実施 生徒3,455人回答

○ 全員に質問します。国は学校の部活動について、まずは休日の部活動を地域に移行することについて議論を進めています。休日の部活動が学校の部活動でなくなることにあなたはどのように思いますか。

- ①とても賛成である 601(青)
- ②どちらかという賛成である 1053(橙)
- ③どちらかという賛成ではない 1141(緑)
- ④全く賛成ではない 660(赤)



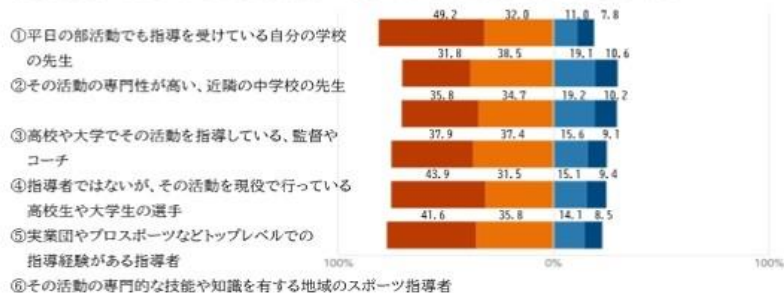
○ 全員に質問します。休日の部活動が学校の活動ではなく地域のスポーツ・文化活動として移行した場合、あなたはどのようにしますか。

- ①参加したい 772(青)
- ②どちらかという参加したい 1114(橙)
- ③どちらかという参加したくない 972(緑)
- ④参加したくない 597(赤)



○ 全員に質問します。地域のスポーツ・文化活動に参加する場合、様々な立場の人から指導を受けられる可能性があります。以下のような指導者からの指導をあなたはどの程度希望しますか。①から⑥のそれぞれについて、当てはまるものを1つお答えください。(単位は%)

希望する(赤) どちらかという希望する(茶) どちらかという希望しない(青) 希望しない(紺)

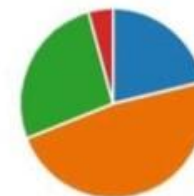


【生徒対象アンケート】

小山市地域クラブ活動移行に係るアンケート結果抜粋  
令和5年7月5日（水）～7月20日（木）実施 保護者1,356人回答

○ 全ての方に質問します。現在部活動の地域移行、特に休日の部活動の地域移行についての議論が進められていますが、あなたは現在の部活動の在り方を変える必要があると思うかお答えください。

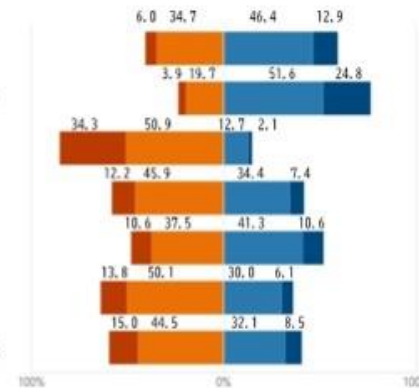
- ①非常に必要であると思う 289(青)
- ②どちらかという必要であると思う 647(橙)
- ③どちらかという必要だとは思わない 362(緑)
- ④全く必要だとは思わない 58(赤)



○ 全ての方に質問します。休日の部活動が地域スポーツ・文化活動に移行した場合、以下の①から⑦のそれぞれについて、当てはまるものを1つお答えください。(単位は%)

全く心配はない(赤) どちらかという心配はない(橙)  
どちらかという心配である(青) 非常に心配である(紺)

- ①活動に当たっての金銭的な負担に関して
- ②活動場所への送迎の物理的・時間的負担に関して
- ③お子様が、学校の友人を越えて新たな交友関係を築くことに関して
- ④地域の指導者の指導能力や指導方法に関して
- ⑤地域の指導者の人間性や教育力に関して
- ⑥地域スポーツ・文化活動が、お子様にとって有意義な活動になるのか否かに関して
- ⑦スポーツ推薦や内申点の扱いなど、進路・進学への影響に関して



【保護者対象アンケート】

## 2. 実証内容と成果

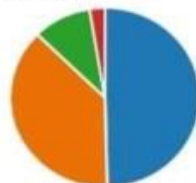
### 参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

小山市地域クラブ活動移行に係るアンケート結果抜粋

令和5年7月5日（水）～7月20日（木）実施 教職員230人回答

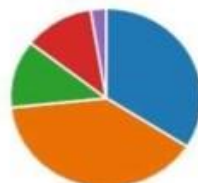
○現在部活動の地域移行、特に休日の部活動の地域移行についての議論が進められていますが、あなたは現在の部活動の在り方を変える必要があると思うかお答えください。

- ①非常に必要であると思う 134(青)
- ②どちらかという必要であると思う 102(橙)
- ③どちらかという必要だとは思わない 27(緑)
- ④全く必要だとは思わない 7(赤)



○部活動の在り方を変えていく具体的な方策として地域移行という方向性が示されたわけですが、あなたはこのことについては賛成ですか、反対ですか。

- ①非常に賛成であり、平日も含めて地域移行を進めるべきだと思う 92(青)
- ②どちらかという賛成であり、考え方は理解できるが、課題も多いと感じるので、休日の地域移行を進めながら、よりよい対応を検討していくべきだと思う 106(橙)
- ③現時点では判断はつかないので、どちらともいえない 33(緑)
- ④どちらかという反対であり、地域に移行することだけでなく、学校に残すことも含めて、より多くの選択肢の中から最善の改革策を検討していくべきだと思う。 32(赤)
- ⑤全く反対であり、部活動は学校の教育活動として存続させるべきだと思う 7(紫)



○休日の部活動が地域に移行された場合、あなたは兼職兼業の許可を得て指導に従事するかどうかお答えください。

- ①必ず従事すると思う 32(青)
- ②従事する可能性が高いと思う 64(橙)
- ③従事しない可能性が高いと思う 107(緑)
- ④絶対に従事しないと思う 67(赤)



【教職員対象アンケート】

## 2. 実証内容と成果

### 参考資料 (活動写真)



【小山第三中柔道クラブ：指導】



【小山第三中柔道クラブ：練習1】



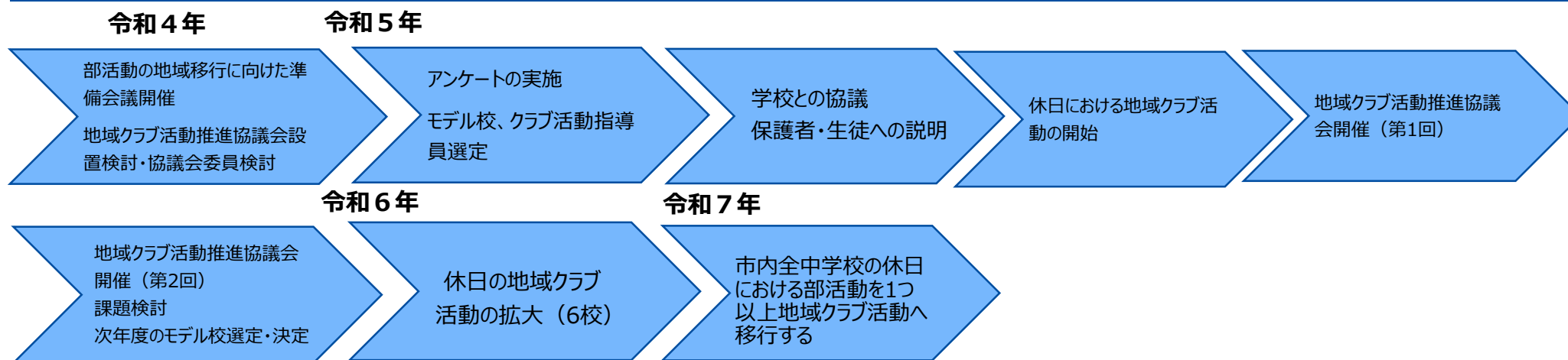
【練習2】



【練習3】

## 2. 実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



#### ○準備会議開催

- ・学校教育課が主体となって教育委員会関係各課と協議

#### （実施内容）

- ・今後の流れについて
  - ①地域クラブ活動移行の方針について
  - ②課題について
    - ・指導者の確保・活動場所・予算・地域・保護者への啓発
  - ③地域クラブ活動の実施
- 今後、地域クラブ活動移行を進めていく上での課題が明確になった。
- 課題解決の道筋は立っていない。今後も関係各課と協議しながら地域クラブ活動移行を進めていく。

#### ○地域クラブ活動推進協議会設置検討・協議会委員選定

- ・学校教育課が主体となって教育委員会関係各課と協議
- ①設置要領について
- ②協議会委員について
- ③協議事項について
- アンケートの実施（7月）
  - ・学校教育課が実施
  - ・生徒・保護者・教職員が対象
  - ・白鷗大学教授からの助言を得て、アンケートを作成。
- 立場によって、地域クラブ活動移行に対しての考えの違いを把握することができた。
- 地域クラブ活動推進協議会の資料として活用。

#### ○モデル校・クラブ活動指導員選定

- ・学校教育課から学校長に打診
- ・部活動指導員が指導している部活動を休日の部活動に限り移行する。
- ・部活動指導員をクラブ活動指導員とする。
- 普段の部活動から指導に関わっているため、地域クラブ活動への移行はスムーズであった。
- 生徒にとっては、今までの部活動との違いが明確ではない。
- 保護者・生徒への説明
  - ・学校で保護者会を開き、学校教育課担当から保護者に対して説明。
  - 保護者の主な意見としてクラブ活動に移行することへのメリットが感じられない。受益者負担。送迎負担など。

#### ○地域クラブ活動推進協議会開催（事務局：学校教育課）（議事）

- ・部活動の地域クラブ活動移行について
- ・小山市の取組と課題
- ・モデル校における実践研究の現状について
- ・アンケート結果より
- ・意見交換
- 小山市の方針が決定
- 今後の進め方の助言を受ける。
- 指導員・施設の協力を要請。
- 令和6年度は、モデル校を6校に増やし、実証事業を行う。

### 3. 今後の方向性

#### 地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

休日における部活動の地域クラブ活動移行のスケジュール

年度/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
R5	モデル校検討・モデル校との打合せ						モデル校での実践・検証				次年度モデル校検討 決定・課題検討	
実証活動	モデル校検討・モデル校との打合せ						モデル校での実践・検証				次年度モデル校検討 決定・課題検討	
協議会	協議会の在り方検討・協議委員への依頼						内容検討		第1回	第2回		
R6	モデル事業 準備(随時開始)		モデル校での実践・検証(6校)						次年度のモデル校 検討・決定(11校) 課題検討			
実証活動	モデル事業 準備(随時開始)		モデル校での実践・検証(6校)						次年度のモデル校 検討・決定(11校) 課題検討			
協議会	第3回						第4回					
R7	モデル事業 準備(随時開始)		モデル校での実践・検証(11校)						課題検討 地域クラブ活動準備			
実証活動	モデル事業 準備(随時開始)		モデル校での実践・検証(11校)						課題検討 地域クラブ活動準備			
協議会	第5回						第6回					
令和8年度以降、市内全中学校・義務教育学校の1つ以上の部活動を地域クラブ活動へ移行												